

2024年4月25日

Hondaの中国現地法人である本田技研工業（中国）投資有限公司（本社：北京、総経理：五十嵐 雅行）は、現地時間2024年4月25日11:40（日本時間：12:40）に以下を発表しましたので、その内容をご案内いたします

e:Nシリーズ第2弾となる新型EV「e:NP2」を广汽 Honda から発売 ～東風 Honda の「e:NS2」も6月に発売～

Hondaは、本日、中国・北京で開催中の2024年北京モーターショー（第18回北京国際自動車展覧会、プレスデー：4月25日～26日、トレードデー：4月27日～28日、一般公開日：4月29日～5月4日）において、EV（電気自動車）「e:N（イーエヌ）シリーズ」の第2弾となる「e:NP2（イーエヌピーツー）」を発表しました。e:NP2は、中国における四輪車生産販売合併会社である广汽本田汽車有限公司（以下、广汽 Honda）より、本日発売します。

同じく四輪車生産販売合併会社である東風本田汽車有限公司（以下、東風 Honda）も新型EV「e:NS2（イーエヌエスツー）」を6月に発売します。

Hondaは、中国において2022年に発売したe:NP1、e:NS1を皮切りに、2027年までに10機種のHondaブランドEVの投入を予定するとともに、2035年までにEVの販売比率100%の達成を目指しています。



e:NP2

e:Nシリーズ第2弾となるe:NP2・e:NS2は、新たな価値を持つEVを目指して「動」・「智」・「美」というe:Nシリーズ共通のコンセプトをさらに磨き上げました。

クリーンで知的さを感じる室内空間にあわせて、人とクルマが一体になったような走りを提供することで、爽快な移動体験の実現を目指しました。

また、e:NP2は伸びやかでクリーンなデザインで、e:NS2は見る人に刺激を与えるエモーショナルなデザインで、それぞれ異なるスマートな未来感を表現しています。

【e:NP2・e:NS2の特長】

「動」: e:N シリーズ専用の「e:N Architecture F (イーエヌ アーキテクチャー エフ)」をベースに、Honda が培ってきたダイナミクス技術を融合することで、人車一体感がある爽快な走りを目指しました。また、IPU (インテリジェントパワーユニット) には大容量のバッテリーを採用するとともに、バッテリーの制御技術や走行抵抗の低減により、e:NP2 では 545km の航続距離 (中国 CLTC 基準) を実現しています。

「智」: 大型のヘッドアップディスプレイや、機能と連動した光の演出などによって、先進的で機能性の高い HMI (ヒューマン・マシン・インターフェース) としました。また、標準装備となる 12.8 インチの大型ディスプレイオーディオと、中国における EV 専用のコネクテッド技術「Honda CONNECT 4.0 (ホンダコネクト)」の進化によって、利便性・快適性を向上させました。冬場の快適性を向上させるため、エアコンとヒーターの協調制御などで電力消費を最小限に抑え、乗員を効率よく暖めることが可能なインテリジェントヒーティングシステムを、Honda 車として初めて適用しました。

「美」: SUV のようなユーティリティーの高さとセダンのような流麗なフォルムを両立しながら、洗練され未来感のあるエクステリアデザインとしました。インテリアでは、水平基調ですっきりしたインストルメントパネルを導入すると共に、上質な素材に包まれる心地よい空間を目指しました。また、大型ディスプレイオーディオやスマートフォンのアプリから好みの香りを選択し、その香りを車内へと拡散させるアロマシステムを Honda 車として初めて適用しました。